

豊田工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	原子物理学
科目基礎情報					
科目番号	91022		科目区分	一般 / 選択	
授業形態	講義		単位の種別と単位数	学修単位: 2	
開設学科	情報科学専攻		対象学年	専1	
開設期	後期		週時間数	2	
教科書/教材	特に指定しない/最先端の科学記事と授業プリントを配布				
担当教員	高村 明				
目的・到達目標					
(ア)ヤングの干渉実験やブラック反射の基礎的問題が解ける。 (イ)放射性元素に関連した基礎的問題が解ける。 (ウ)原子モデルや光電効果に関連した基礎的問題が解ける。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目(ア)	ヤングの干渉実験やブラック反射の問題が解ける。	ヤングの干渉実験やブラック反射の基礎的問題が解ける。	ヤングの干渉実験やブラック反射の基礎的問題が解けない。		
評価項目(イ)	放射性元素に関連した問題が解ける。	放射性元素に関連した基礎的問題が解ける。	放射性元素に関連した基礎的問題が解けない。		
評価項目(ウ)	原子モデルや光電効果に関連した問題が解ける。	原子モデルや光電効果に関連した基礎的問題が解ける。	原子モデルや光電効果に関連した基礎的問題が解けない。		
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	原子・分子といったミクロの世界ではニュートン力学、マックスウエルの電磁気学、流体力学などはもはや成立せず、人間が物質に対してもつ自然な感覚や考え方は成立しない。ミクロな世界はマクロな世界と違って、粒子と波動の性質を合わせ持つことが本質あることが20世紀の物理学で明らかになった。粒子は大きさがなく、エネルギーや運動量を持つものに対し、波動は広がりがあり、波の強さや波長を持つので、両者は異なるからのである。この講義では20世紀に発展したミクロの世界の物理学を学ぶ。				
授業の進め方と授業内容・方法					
注意点	授業後に科学記事と授業プリントを必ず復習し、学習内容の理解を深めること。				
選択必修の種別・旧カリ科目名					
授業計画					
		週	授業内容・方法	週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	既習事項の確認	本科の内容を総括的に理解する	
		2週	力学の復習	力学の基礎的な問題が解ける	
		3週	電気の復習	電気の基礎的な問題が解ける	
		4週	力学と電気の総復習	力学と電気の問題が解ける	
		5週	ヤングの干渉実験とブラック反射	ヤングの干渉実験とブラック反射を理解する	
		6週	原子核と電子からなる原子	原子の構造を理解する	
		7週	問題演習	これまでの内容を総括的に理解する	
		8週	放射性元素と年代測定	放射性元素の意味を理解する	
	4thQ	9週	光電効果と光の粒子性	光電効果の意味を理解する	
		10週	問題演習	これまでの内容を総括的に理解する	
		11週	総合演習	これまでの内容を総括的に理解する	
		12週	原子スペクトルとボーアの量子条件	ボーアの量子条件を理解する	
		13週	ド・ブロイの物質波と電子顕微鏡	ド・ブロイの物質波の意味を理解する	
		14週	問題演習	これまでの内容を総括的に理解する	
		15週	総合演習	これまでの内容を総括的に理解する	
		16週			
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標					
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
評価割合					
		定期試験	課題	合計	
総合評価割合		60	40	100	
分野横断的能力		60	40	100	